



京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座
2024連続講座

レジリエンス — 人間と社会の強靱性を考える —

この度、京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座では、「レジリエンス—人間と社会の強靱性を考える」と題した連続講座を開催いたします。

本講座では、人文社会科学および社会工学における探求を通して、多角的な視点から人と共同体のレジリエンス力を高めるヒントを探ります。地震・風水害等の自然災害やパンデミック、地政学的紛争リスク、世界同時不況等、あらゆるリスクに直面してなお、人を動かし、一定の共同性・凝集性を維持し、事業継続を可能とするものとは何か。

本講座を通して、レジリエンスへの理解を深め、自己と社会を理性的にとらえる力をはぐくみます。

【日時および登壇者】※時間はいずれも16:00-18:00

	日時	登壇者	テーマ
第1回	2024年8月24日 (土)	浜崎 洋介 (京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座特定准教授、文芸批評家)	現代の超克—戦後社会の脆弱性を乗り越えるために
第2回	2024年9月21日 (土)	柴山 桂太 (京都大学大学院人間・環境学研究科准教授)	グローバル化時代の複合危機
第3回	2024年10月19日 (土)	白水 靖郎 (京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座客員教授、中央復建コンサルタンツ株式会社代表取締役社長)	公民連携の功罪
第4回	2024年11月16日 (土)	岩尾 俊兵 (慶應義塾大学商学部准教授)	カネの論理とヒトの論理：資本主義の再構築
第5回	2024年12月21日 (土)	山口 敬太 (京都大学大学院地球環境学堂 准教授)	現代社会における共同性を考える
第6回	2025年2月15日 (土)	辻田 真佐憲 (京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座客員准教授、著述家)	AI時代の情報戦をどう考えるか
第7回	2025年3月15日 (土)	山田 忠史 (京都大学経営管理大学院教授)	持続可能なビジネスとIT—わが国の物流を題材として— (仮)

- ・第1回目は登壇者の講義後、川端祐一郎氏（京都大学大学院工学研究科准教授）と浜崎洋介氏による対談を行います。
- ・第2回目以降は、各登壇者の講義後、登壇者と浜崎洋介氏による対談を行います。

【会場】京都大学 吉田キャンパス 総合研究2号館1階 講義室 1 ※会場は変更となる場合がございます。

【定員】100名

【対象】一般、大学院生、大学生

【参加費】無料（事前申込制）

【申込方法】申込フォームよりお申込みください。（こちらのQRコードからお申込みいただけます）

申込フォームURL <https://forms.gle/tpEHZVEpVjPZfckA7>

各回とも定員に達し次第、申込を締切とさせていただきます。



申込用QRコード

第1回：2024年8月24日（土）現代の超克—戦後社会の脆弱性を乗り越えるために
浜崎 洋介（京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座特定准教授、文芸批評家）



1978年埼玉県生まれ。日本大学芸術学部卒業、東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻修了、博士（学術）。文芸批評家。東京工業大学、日本大学、法政大学などでの非常勤講師を経て現職。著書に『福田恆存思想の〈かたち〉』（新曜社）、『小林秀雄の「人生」論』（NHK出版新書／第31回山本七平賞奨励賞受賞）などがある。

第2回：2024年9月21日（土）グローバル化時代の複合危機
柴山 桂太（京都大学大学院人間・環境学研究科准教授）



1974年東京都生まれ。京都大学経済学部卒、同大学院人間・環境学研究科博士後期課程退学。滋賀大学経済学部准教授を経て現職。専門は経済思想、現代社会論。著書に『静かなる大恐慌』（集英社新書）、共著に『グローバリズム その先の悲劇に備えよ』（集英社新書）などがある。

第3回：2024年10月19日（土）公民連携の功罪
白水 靖郎（京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座客員教授、中央復建コンサルタンツ株式会社代表取締役社長）



京都大学工学部卒業。中央復建コンサルタンツ株式会社入社後、京都大学経営管理大学院修了（MBA）、日本コミュニティサイクル株式会社設立。2024年7月より中央復建コンサルタンツ株式会社代表取締役社長。一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議監事、NPO法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾理事等を兼務。

第4回：2024年11月16日（土）カネの論理とヒトの論理：資本主義の再構築
岩尾 俊兵（慶應義塾大学商学部准教授）



1989年佐賀県生まれ。東京大学大学院経済学研究科マネジメント専攻博士課程修了。博士（経営学）。第73回義塾賞、第36回組織学会高宮賞論文部門、第37回組織学会高宮賞著書部門、第22回日本生産管理学会賞理論書部門、第4回表現者賞等受賞。著書に『世界は経営でできている』（講談社現代新書）ほか。

第5回：2024年12月21日（土）現代社会における共同性を考える
山口 敬太（京都大学大学院地球環境学堂 准教授）



2004年京都大学卒、2009年京都大学大学院工学研究科博士課程修了後、同研究科助教、2017年に同准教授を経て現職。専門分野は景観・デザイン、まちづくり。多くの地域で地域づくりの実践に関わる。共編著に『日本風景史』（昭和堂）『まちを再生する公共デザイン』（学芸出版社）などがある。

第6回：2025年2月15日（土）AI時代の情報戦をどう考えるか
辻田 真佐憲（京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座客員准教授、著述家）



慶應義塾大学文学部卒業、著述業。主要論文・著書に『「戦前」の正体 愛国と神話の日本近現代史』講談社、2022年、『防衛省の研究 歴代幹部でたどる戦後日本の国防史』朝日新聞出版、2021年、『大本営発表 改竄・隠蔽・捏造の太平洋戦争』幻冬舎、2016年、『日本の軍歌 国民的音楽の歴史』幻冬舎、2014年などがある。

第7回：2025年3月15日（土）持続可能なビジネスとIT—わが国の物流を題材として—（仮）
山田 忠史（京都大学経営管理大学院教授）



京都大学大学院工学研究科修士課程修了。博士（工学）。関西大学工学部専任講師、広島大学大学院工学研究科助教、京都大学大学院工学研究科助教を経て現職。専門分野は、ロジスティクス、交通計画、技術経営。土木学会論文集、グローバルビジネスジャーナル、実践政策学、Transportation Research, European Journal of Operational Researchなどに論文多数。